

令和8年度 6月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	11回
2 延べ従事補導委員数	53人
3 相談件数	0件
4 補導した少年数	0人
5 声かけ人数	212人



6月の活動日誌から

6月3日（水）

14班（T・K）記

巡回経路

中込会館 → 中込駅 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 水上公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園 → 中込児童館
→ 中込駅駐輪場

活動の様子

午後2時頃には台風による雨は上がりましたが、その影響もあったのか巡回した公園や中込駅には児童・生徒は1人も見られませんでした（小海線は台風の為に中込～小淵沢間は運休）。中込会館の学習室では、中学3年生の女子生徒2名と高校1年生の女子生徒1名が自習していました。中学生は明日がテストとのこと、日頃の学習成果を発揮して欲しいと思うのでした。その後、中込駅周辺を巡回しながらサングリモ中込図書館に向かいましたが、その途中で出会った小学生の女子児童3名に、図書館は臨時休業であることを教えて貰ったので訪問は中止しました。児童は、私たちの質問に対して丁寧に受け答えできており、とても好感が持て、素晴らしい対応と感心いたしました。中込児童館では、75名ほどの児童が来館しており、学習したり遊んだり笑顔で活発に過ごしていました。当日、館長の話によると、台風の影響で中込小学校の始業が10時過ぎになったとのこと、そのような事情もあって、100名の児童が来館予定であったが25名ほど減ったとのことでした。最後に新設された中込駅駐輪場に行ったところ、駐輪場脇の歩道に駐輪する自転車が何台もありました。そこを歩いて下校する小学生を見かけましたが、歩道に違法駐輪する自転車を避ける為に車道を歩いており、これは早急な改善が必要と考えさせられました。

6月5日（金）

6班（Y・H）記

巡回経路

浅間会館 → 中央公園 → 生涯学習センター → 野沢多目的広場

活動の様子

水田も緑色に変わり、暖かな季節となる中での活動です。中央公園で高校生が2名いたので声をかけました。高校生が乗っていた自転車の1台が後ろの反射板が無く、理由を聞くと取れてしまったとのこと、また、夜に乘ることはないとのことでした。

生涯学習センターでは、皆さん静かに趣味等に没頭していました。多目的広場では、ネット内でサッカーのパスの練習の他、個人的な練習をしている人達がいました。新しくできた広場で良い場所だと感じました。一方で、地区によって格差もある様に感じました。他の地区でも同様な整備を計画的に進めて欲しいと思いました。

街頭補導活動中、ネット被害防止のチラシ入りティッシュもありましたので、各場所で子ども達にトラブルに気をつけてと手渡しました。



6月8日（月）

専門補導委員記

巡回経路 生涯学習センター → 岸野児童館 → 三塚公園 → 野沢多目的広場
→ 生涯学習センター

活動の様子

集合場所の生涯学習センターに到着して1階のつどいの広場やキッズスペースを見ると、時間が早かったのか普段なら小学生の遊び声でにぎやかなのに、勉強をしている高校生5人くらいと、クラブ活動で来ていた大先輩方10人くらいで静かな環境でしたが、その後、高校生が続々と訪れると生涯学習センターが高校の別館のようでした。訪れた高校生に「もうすぐテストかい」と声を掛けると「水曜から3科目ずつ」と明るく答えてくれました。

岸野児童館を訪れると40人くらいの児童が利用していました。庭で縄跳びをしていたり、館内で本を読んだりのにぎやかでした。体育館ではちょうど、ドッチボールをしていたグループと一輪車に乗るグループが入れ替わったので、一輪車の練習風景を見学しました。始めたばかりの1年生はおっかなびっくり壁伝いに進んでいましたが、2年生・3年生となるとスイスイと楽しそうに体育館の中を乗り回している姿を見てバランス感覚の良さに感心しました。

6月10日（水）

専門補導委員記

巡回経路 望月支所 → 望月交番 → スーパー → 若駒児童公園
→ 望月支所

活動の様子

望月地区の街頭補導活動に併せ望月交番を訪問し、望月や浅科で開催されるお祭りでの補導活動についての挨拶を行いました。挨拶に合わせて祭りの際の駐車場などについて話を聞こうとしたのですがちょっと早かったようで、お祭りの会議はこれからということでした。

次にスーパーを訪問し店内の状況を見せてもらいました。郊外のスーパーということもあるかもしれませんが、車を運転してくる人ばかりで、歩いて店までくる人はほとんどいない状況なため子ども達の姿はありませんでした。

最後に若駒児童公園へ行くと子ども達が10人程いました。その中の女の子5人組に声を掛けると5人組は、塾の時間までの時間調整で公園にきていると教えてくれましたが、時間調整とは思えないくらいしっかり遊んでいて、この後、勉強できるのかなと心配になるほどでした。

6月12日（金）

8班（H・M）記

巡回経路 大型ゲームセンター → スーパー → 中央図書館 → 駒場公園

活動の様子

今年度初めての街頭補導活動です。夕立がきそうな空模様のなか、大型ゲームセンターから街頭補導活動をスタートしました。

大型ゲームセンターでは、児童・生徒の姿はなく大勢の大人と数組の親子がゲーム機で楽しんでいました。スーパーでは、特売日で駐車場には多くの車、店内は年配の買い物客で賑わっていましたが、フードコートには児童・生徒はいませんでした。中央図書館では、数組の親子連れと十数名の大人が読書をしていました。駒場公園のテニスコートでは、4組の高校生がソフトテニスを元気に楽しんでいました。また、子どもの水泳教室があるのか、大勢の子どもたちが駒場プールに集まってきました。心配していた夕立もなく、本日の街頭補導活動も無事終了しました。

6月15日（月）

7班（S・K）記

巡回経路 大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば → 近津南公園
→ ねむの木公園 → 大型スーパー

活動の様子

梅雨入りから10日ほどですが、巡回では雨にならずに済みました。巡る順番は、初めに砂田公園、市民交流ひろば、近津南公園、ねむの木公園、最後にイオンモールになりました。砂田公園には誰もいませんでしたが、市民交流ひろばには女子高生や家族連れが目立ちました。近津南公園では、小学校の高学年と低学年の児童が7名程と家族連れが遊んでいました。高学年の子は、シールの交換をして遊んでいました。犯罪被害防止のチラシ入りのティッシュを渡して、家の人に渡すように伝えました。ねむの木公園には、誰もいませんでした。最後に大型スーパーを巡回しました。フードコートでは、高校生のグループがそれぞれ勉強をしていました。ゲームコーナーでは、親子連れが3組いただけでした。特に注意することなく、巡回を終えることができました。

6月19日（金）

17班（K・I）記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園 → 臼田児童館 → 稲荷山公園
→ コスモホール → 臼田図書館

活動の様子

梅雨時とは思えないほどの初夏を思わせるむし暑い中、巡回を始めました。車中からの目視でしたが、下の宮公園には児童の姿は確認されませんでした。次に臼田児童館を訪問し、玄関先に置いてあった出席簿を見ると42名の児童が来所しておりました。館長さんに人数の内訳を聞くと低学年の児童が多く、年間を通じて高学年の利用率は低いとのことでした。中の様子を伺うと宿題や読書をしている児童が多くいました。また、絵を描いている児童もおり見せようと、ハンギョドン（サンリオのキャラクター）の絵で中々の出来栄でした。運動場では女子児童がサッカーの練習をしており、ドリブル



やリフティングなどを行っている姿はテクニシャンで将来のなでしこジャパンでした。次に訪れた稲荷山公園では、1組の親子がローラー式の滑り台を楽しんでおりました。公園の芝はきれいに整備されており訪れる人も大切に使用しなければいけないと思いました。最後にコスモホール・臼田図書館を訪れました。コスモホールでは先程まで企業のイベントが開催されていたため、その片付けをしており、駐車場も帰る車で大変混雑をしておりました。キッズコーナーでは2～3歳の女の子が黒板にアンパンマンの絵を書いておりました。形にはなっていませんでしたが笑顔がとっても可愛かったです。図書館のスタッフに話を聞くと、本の貸出しが最大700冊/日あるとのことで1人10冊迄の貸出しがOKとのことでした。普段から読書をする習慣がない私も時間を見つけて本と向き合いたいと思いました。

6月22日（月）

12班（S・M）記

巡回経路

生涯学習センター → 鍛冶屋公園 → 高柳公園
→ 取出町ふれあい公園 → 東田公園 → 生涯学習センター

活動の様子

雲が多いながらも時折陽光が射し日中はかなり蒸し暑かったが、夕方になり心地よい風の吹く中での補導巡回活動となりました。今回はネット・SNS利用について、ポケットティッシュ配布による啓発活動も併せて実施しました。最初の鍛冶屋公園ではシルバー人材による除草作業が終わったばかりで、老夫婦が1組だけで子どもの姿はありませんでした。次の高柳公園では珍しく中学3年生3人がバレーボールでパス練習をしていました。部活動は野球2名とバレーボール1名で、部活はどうしたのか聞くと長野県中学校体育大会が昨日終わり今日は休みとのことでした。県中体連は負けてしまったので暇を持て余している風でした。取出町ふれあい公園には人影はありませんでした。次の東田公園に小学校5年生の女子3人が珍しくいたので話を聞くと、多目的広場等がすごく混んでいたから来たとのことでした。県中体連後で中学生の利用が普段より多かったようでした。巡回途中で見た野沢多目的広場には、これまでに経験のないほどの子どもたちがスポーツ等に興



じていました。施設が全て完成したことから利用率が大幅に向上したようです。最後の生涯学習センター内のつどいの広場には20人以上の中高生が勉強やゲームをしていましたが、小学生はいつもより少ない印象を受けました。期末テストが近いようで、2階の学習室にも高校生と中学生17人程が学習していました。

6月24日（水）

5班（T・R）記

巡回経路

浅間会館 → 中央公園 → 枇杷坂公園 → コンビニ
→ 大型ディスカウント店 → 浅間会館

活動の様子

浅間会館2階の学習室兼図書室には、勉学に勤しむ学生さん数名の姿があり、励ましの言葉をかけました。私事ではありますが、興味ある蔵書にも目が向きました。中央公園には、児童、学生、親子連れが多く、ベンチでくつろいだり、遊具やクローバー摘みに興じ

たりしていました。皆さん、声がけに元気に応じてくれました。女子児童のグループに、流行りのボンボンドロップシールの分厚いファイルを見せてもらいました。また、公園に設置してもらいたいものを要望される場面もありました。枇杷坂公園では、仲の良い学生2人がくつろいでいました。大型ディスカウント店は、私自身、初めて訪れる店舗でした。その商品の数量の多さ、安さに圧倒されました。余計な心配ですが、防犯面も含め管理が大変そうと素人目線で見てしまいました。公園の数の多い佐久市ですが、今日はこの公園で、いろいろな人々に会えて、お話を聞くことができよかったと思います。

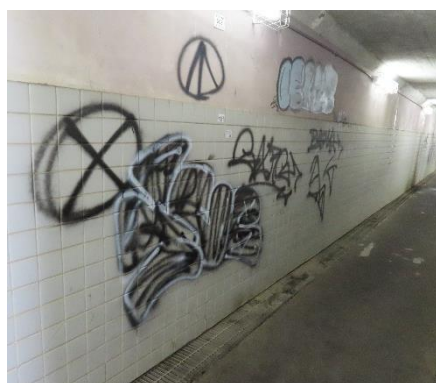
6月26日（金）

15 班（I・K）記

巡回経路 中込会館 → 橋場公園前の地下道
→ 斎藤産婦人科横の地下道 → 城山児童館

活動の様子

今回は、台風が近づく雨の中での見回りとなりました。まず、各地下道の壁面にいたずら書きがされているということで、確認に行きました。かなりアーティスティックな文字も書かれていましたが、公共施設であることを忘れてはいけないと思います。また、消しても、すぐに落書きが繰り返されることや、地下道の壁面がこのような状態になっていることを、市民全体に周知することが大切だと感じました。その後、以前回った城山児童館に行きました。ここはいつ訪問しても、建物が児童数（平日、約150名程が利用）に対して狭いなあという感想をもちます。子どもたちに、もっと広い場所を提供できないものでしょうか。午後4時40分頃には号令がかかり、学年別に場所を決めて子どもたちで掃除をしているそうです。サッカー場でのサポーターのゴミ収集が美談として世界に伝わっているように、みんなで掃除をする習慣は、大切にしたい日本の文化の一つだと思います。



6月29日（月）

専門補導委員記

巡回経路 下原公園 → 浅科図書館 → 道の駅・ふれあい広場
→ 浅科保健センター → 十二川原公園 → 庄の上公園

活動の様子

本日は、専門補導委員のみで巡回しました。下原公園には児童の姿はありませんでしたが、下校途中の高学年の男子児童2名が近くを通りかかりました。気をつけて帰るように声がけをすると、「ありがとうございます」と礼儀正しい返事が返ってきました。浅科図書館は、休館日で人の姿はありませんでした。道の駅ほっとば〜く浅科のふれあい広場は、ある程度の人でにぎわっていました。その中に、県外から観光に訪れている親子連れを見かけました。浅科保健センターは、チャレンジ教室が7月から移転するということ

で、新たな移転場所の確認に行ってきました。最後に、十二川原公園と庄の上公園を巡回しましたが、いずれも児童の姿はありませんでした。



今回は、普段の巡回では目の届きにくい場所を重点的に回りました。浅科保健センターに向かう途中で、男子児童が人気のない道を独りで下校しているのを見かけました。さまざまな危険が想定されますので、できれば複数人での下校が望ましいと思われます。児童数が減少している現状では難しいのかもしれませんが、常に危機意識をもって、児童の安全を考えてまいりたいと思います。

6月の活動を終えて 専門補導委員 (S・T 記)

== 今年も無事に ==

何年前からだろうか。我が家の玄関ポーチにツバメが営巣するようになった。最初の年は、「ツバメが来るということは、幸せも一緒に運んでくる」はずと、誰が言ったかもわからない、何の裏付けもないにも関わらず営巣を許したものだ。それからが大変だった。巣の建設中は、泥とともに建設資材(藁など)が玄関口を汚し、朝・昼・晩とホースによる散水とデッキブラシでの清掃が必須となった。それでもツバメは気にすることな



く順調に建設を進めていった。完成すると、それはそれで巣の出来栄えに感嘆したものだ。やがて孵化した子ツバメたちが、親鳥が届ける食事を一齐に声をあげ、さし餌する様子が子ツバメたちの声を聞くことで確認できた。しかし、これからが巣の建設中よりも大変さが増すこととなった。フンの始末である。営巣時と同様、朝・昼・晩の清掃はもちろん、近所の方や配達の方への注意喚起が必要になった。そんなこともあり、一度、断腸の思いで巣を取り壊した年がある。ポーチに取り壊した痕跡を残さぬよう慎重に作業をおこなった。加えて、キラキラディスクを吊るし、目玉模様の貼り紙まで施した。ところが、翌年も一から建設を開始し、巣は見事に再建されてしまった。限定的とはいえ、巣立つまでの期間、フンの始末をする年が続いている。その対応では、眉間にしわを寄せながら行っていたが、今となっては困ってはいるものの眉間にしわを作ることでも無くなった様な気がする。そして、今年も6月の末にお礼も言わずに巣立っていった。無礼にも程がある。それでも来年も来るだろうか?と思う自分がある。いずれにしても、今年も無事にツバメたちを送り出すことが出来て、何故か「ホッ」する思いである。